

日本共産党

磯城郡議員団だより

芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp
 川西町結崎 862-7 0745-43-2415
 吉田 容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
 田原本町大木 113-5 090-5257-4446
 森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
 田原本町鍵 281-1 0744-33-8570
 (事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
 三宅町屏風 440-5 0745-43-2861

安倍内閣「追い出し部屋」にも助成金支給へ

「労働移動」で大企業のリストラ支援

安倍晋三首相が「雇用維持型から労働移動支援型へ政策転換」(日本再興戦略)と打ち出したのを受けて、厚労省は大企業のリストラ支援策を2014年度予算に盛り込む方針を決めました。大企業の「追い出し部屋」にも助成金が支給できるため、労働者からは「無法人リストラを国が支援するなんてあべこべだ」と批判する声が上がっています。

厚労省は、休業などで雇用を維持する企業に支給する「雇用調整助成金」を縮小し、「労働移動支援助成金」を大幅に増やします。これは中小企業をリストラされた労働者の再就職が実現した場合、人材ビジネス会社への委託費用の半分を助成する制度ですが、新たに大企業にも適用。再就職実現時だけでなく人材会社への「委託時」にも支給。人材ビジネス会社や受け入れ企業の「訓練」にも助成金など、至れり尽くせりの支援を行います。

「追い出し部屋」はパナソニック、ソニーなど大企業が導入。仕事をとり上げ、ネットで自ら「求人」を探させるなど違法な退職強要の場となっています。人材会社が関与しており、助成金の支給が可能となります。

雇用調整助成金の支給は現在のべ462万人、1134億円で、労働移動支援助成金は774人(非正規雇用含む)、2.4億円(2012年度)となっています。安倍首相はこれを逆転させると明言しています。

「限定正社員」すすめる方針
併せて安倍内閣は、解雇しやすい「限定正社員」の導入、派遣法改悪などをすすめていく方針です。「労働移動」で再就職しても不安定で低賃金。残業代ゼロ法などで正社員でも労働強化に駆り立てられることになりかねません。

産業の衰退招く愚策

電機・情報ユニオン 森英一書記長

電機産業では18万人を超す大リストラのなかで労働者を「追い出し部屋」に入れ、新人レベルの業務や単純業務しかさせず、人材ビジネス会社で再就職先を探させるなど退職強要を行っています。無法人やり方を「労働移動」の名で後押しするなど許されません。

リストラで技術力や人材が失われ産業を弱体化させており、労働者が安心して働けることが産業と経済再生にも不可欠です。安倍内閣の「労働移動」策は労働者の願いに背き、リストラに拍車をかけ、産業のいっそうの衰退を招く愚策です。

安倍内閣の「労働移動」支援策



2013年8月15日(木)

安倍首相式辞・閣僚の靖国参拝 地方紙が「反省どころへ」批判

安倍晋三首相が終戦の日の戦没者追悼式での式辞でアジア諸国への加害の反省や不戦の誓いに触れず、靖国神社に玉串料を奉納したことや、3閣僚の靖国神社参拝に対して複数の地方紙が16日、社説で批判しました。

と題した社説を掲げた北海道新聞は「閣僚の参拝を『心の問題で自由だ』として容認してきた首相の責任は重い」と指摘。「閣僚の靖国参拝による日本への不信感を払拭(ふっしょく)しなければならぬ時に、逆に増幅させるかのような姿勢は理解に苦しむ。自らは参拝せず、玉串料奉納にとどめることで中韓に配慮したつもりなら認識が甘すぎる」「閣僚の参拝は侵略戦争の肯定と受け止められる」としました。

河北新報は式辞について「1994年の村山富市首相以降、歴代首相は『反省』に踏み込んでおり、歴史認識に関する安倍首相の独自色をのぞかせた形だ」として、「戦後70年の2015年に新たな首相談話を打ち出す際の布石との見方がある。ただ、首相の歴史観は国際的に通用するものでなければ、日本の立場を損ねることになる」と警鐘を鳴らしました。

信濃毎日新聞は靖国神社にある遊就館について「そこには、アジアの人々に苦しみを強いたことへの反省がない。遊就館が主張する歴史観は、戦争への反省から出発した戦後日本の歩みと相いれない」と書いた上で、「首相や閣僚の参拝は、日本が戦争の歴史を正当化しようとしている証拠と受け取られても仕方ない。憲法が定める政教分離原則に照らしても問題を残す」と強調しました。靖国神社が現在、日本の侵略戦争を美化し、戦前は戦争遂行のための国家機関として機能してきたことにも触れています。

閣僚参拝をめぐる東京新聞は「国家の指導的立場にある者は、対立の火に油を注ぐのではなく、解決のための知恵を集めるのが役目のはずだ」。京都新聞も「戦争と植民地支配で日本が近隣諸国に与えた苦痛を思えば、アジアの人々が参拝に神経をとがらせる気持ちに政治家はもっとと敏感になるべきではないか」と述べています。

首相の式辞に対して中国新聞は「不戦の決意を明言しなかったことには国民も何か、不気味さを覚えたのではないか」「このところ、領土をめぐる摩擦にしても集団的自衛権の解釈変更への動きにしても、代々積み重ねてきた歴史を突き崩すかのような政治の動きが目立つ」と警戒感を示しました。

2013年8月17日(土)

平和パネル展

町は毎年、平和パネル展をされています。今年度は、図書館で「十五年戦争」というテーマで写真展（八月十五日〜二十日）をされています。

昭和十二年七月九日（夕刊）「日支両軍交戦、盧溝橋でわが部隊に突如発砲」、昭和十六年十二月九日（夕刊）「帝国、米英に宣戦を布告」、昭和二十年八月十五日「聖断拜し大東亜戦争終結」と並んでいました。

盧溝橋事件は、日本軍が謀略で起こしたことは判明していることを説明してほしかったですね。そこで、気になったのが、八月十五日が夕刊でなく朝刊だったことです。職

員さんに尋ねると、後から、「当時の政府の指示で、朝刊を玉音放送後に配った」と教えていただきました。

数年前までは、役場ロビーで行っていたパネル展を図書館に持ってきたいい点が、質問できることでしょうかね。

ただ、町のホームページでまったく宣伝してないのにはびっくりしました。八月は、戦争の悲惨さを確認し、二度と戦争はしない決意を新たにする月です。町の真剣な取り組みを期待したいですね。

田原本議会
議員
吉田容工



海水温まで上昇

一向に暑さが収まる気配が見えて来ませんね。やっぱり、我々人類を始め地球上の生物は、三十二、三〇程度までで過ごせるようになってきているのかもしれないですね。

先日、沖繩のサンゴ礁が海水温が上昇し過ぎて死滅の恐れがあると、報道を見かけました。実は、来月の末なんです。妻の夏休みが有りますが、それを利用して出かける計画を立てていた所でした。ふと目に止まった次第です。とにかく、いろんな方面で影響が出ているようですから、くれぐれもご自愛ください。ね。

さて、結崎駅から早朝と夜間の駅員さんを引き上げる問題ですが、やは

りトラブル時の対応等への心配や夜間の駅員さんが居ない状態に対して、漠然とした不安感を抱く声は私のもとにもご利用の皆さんから寄せられ始めている。

この問題、照会に対する返答が有っただけで、具体的取り組みに関して皆さんの所へ近鉄からの告示はまだありません。突然、「こう決まりましたん」と言われても、どうしようも有りませんもんね。

回避するべく竹村町長等磯城郡三町長で今月中旬に近鉄へ出向くとの事ですが、ご利用の皆さんの具体的な声を是非、お聞かせ下さい。

川西町議会
議員
芝 和也



「はだしのゲン」

磯城郡の「平和のつどい」で今年「はだしのゲン2」のアニメ映画を上映し、参加者に感銘を与えました。

ところが今年各社の新聞に「はだしのガン」の記事がよく掲載されています。8月4日付けの「奈良新聞」には「はだしのゲン翻訳20言語国境、世代超え読み継がれ」という見出しで紹介。イランでも出版、英語やロシア語、などで翻訳され、約10年前から図書館に寄贈してきた金沢市の市民団体「プロジェクト・ゲン」の代表浅妻南海江さんによるとイランのアベディニ・サラさんは「核兵器は絶対反対。原爆や戦争に負けないゲンはイランの人の力になるはず」と紹介。

「朝日新聞」の8月18日の「天声人語」に昨年12月に亡くなった漫画家の中沢啓治さんに

「はだしのゲン」を読んだ小学生の母親からの手紙が届いたことを紹介しています。

「天声人語」では、小学生の手紙に「『はだしのゲン』を読んだ息子が一人でトイレに行けなくなった」との訴えに原作者の中沢啓治さんは「息子さんは、素晴らしい感受性の持ち主です。褒めてやってください」と昨年夏語ったという事です。最後に「地獄図のような場面を見れば、だれしも恐怖を感じ、戦慄を覚える。しかしそんな経験から戦争の恐ろしさ、罪深さを思い知る。子供に感じる力や考える力を、中沢さんのようにもって信じたらどうか」と結んでいます。

今の政治家がもっと学ぶべきことではないか。
三宅町
池田年夫



町議会議員選挙

9月3日告示、8日投

票という町議会議員選挙が間近に迫ってきました。四年前、右も左も分からない私でしたが、先輩の吉田議員の後について無我夢中で駆け抜けてきた気がします。

当初、議場で発言する際の経験したことのない緊張感は忘れられません。それでも毎回、一般質問していくと少しずつ慣れてコツがつかめてきたような気がします。

選挙は2期目が一番難しいと聞いていますが、町民の方々にやってきた事を見て頂き、時期かかっている公約を皆さんと

力を合わせて実現していきたいと思えます。

公約はビラ、チラシなどを何回か配布させて頂いていますので、是非ともお読み下さい。アンケートも配らせて貰ったところ、沢山の方々が御協力下さり、貴重な御意見を頂きました。皆さんの生の声を今後の議会、議員活動に役立て、精一杯頑張っていくと決意です。「田原本町は本当にいい町！」と言って頂けるまで・・・大きなお力添いを宜しくお願ひします。

田原本議会
議員
森 良子

